

令和2年度 事業計画書

献眼登録については、各ライオンズクラブ、白菊会などのご協力を得て、さらに増加に努めたい。

献眼者数は、平成31年度は6名で、合計7眼の献眼があったが、愛媛県内の移植待ちの患者（レシピエント）の治療を賄うためには、さらなる増加が必要である。

当財団の財務に関しては、献眼者を増加させることが収入増にもつながるため、今後さらに広報活動の充実及び財務体質を改善するための運営基盤の強化が必要である。

そのため、下記の事項を本年度の事業計画として実施する。

記

1. 献眼者の増加を図るための活動

- (1) 昨年度は、県内15か所の主要医療機関のうち13か所の院内コーディネーターと面談し、献眼への協力を依頼した。本年度は、残り2か所を訪問する。
- (2) 愛媛県臓器移植支援センターとの連携を密にする。
- (3) 愛媛大学白菊会との連携を強化し、多くの会員の皆様に献眼登録を依頼する。
- (4) 県内のライオンズクラブ等と協力し、献眼登録キャンペーンを実施する。

2. 献眼についての理解を深めていただくための活動

- (1) 年1回発刊している「愛媛アイバンクだより」の内容を充実させる。
- (2) 献眼について、より多くの方にご理解いただくため、「講演会」、「献眼登録キャンペーン」を実施する。
- (3) 新たな献眼登録者には、献眼登録票と共に、実際に献眼が発生した時の手続きなどの説明書「献眼についてのQ&A」を送付し、理解を深めていただく。
- (4) 主要医療機関等に、「愛媛アイバンクだより」「献眼登録リーフレット」の設置を積極的に依頼する。

3. 運営基盤の強化

- (1) 基本財産の効率的運用を図る。
- (2) 広告収入の増加を図る。
- (3) 寄附金の税額控除優遇制度の告知を推進し、新規賛助会員の開拓を図るとともに、賛助会費未納者の減少に努める。
- (4) 「募金箱」の設置依頼を積極的に行う。
- (5) 経費節減に努める。

以上